



Active stage at HK

～東海南中学校だより～ 令和2年10月号



闘志を燃やせ！僕らが主人公 R2体育祭



9月12日、今年度初めての行事となる第51回体育祭が開催されました。コロナ渦の中、当初は開催できるか危ぶまれましたが、生徒同士の接触や対面での発声を避けるなど競技種目を変更し、できる限りの感染症予防対策を行って開催までこぎつけました。開会式では、生徒会長の服部賢慎君が「感染症対策を徹底してくれた学校、そして、3年生についてきてくれた1・2年生のみなさんに感謝します。スローガンは『初志貫徹～闘志を燃やせ！僕らは主人公』。全力を尽くして最高の体育祭にしましょう」と挨拶。その後、両ブロック長が元気よく選手宣誓しました。

今回は、スピードNo.1・男女リレー・ブロック対抗リレー・部活対抗リレーと、ひたすら走る！走る！走る！全員がリレーに出場し、中には代役も含め5回走った3年生も。印象に残ったのが新種目「試せ！ぼくらの運！」。3列で守る相手チームをジャンケンで勝ち抜き、最後ブロック長に勝てば5点も稼げるという種目です。勝った人にはキラキラ



のレイをかけ、観客席前をウイニングラン。最高の笑顔とガッツポーズが見られました。1年生の尾前有咲さん（写真左）は、なんと5回も勝ち、一人で25

点も稼ぎました。来年は育友会種目にして保護者の方々にも是非参加してもらいたいと思います。その他に、間隔をあげ、なるべく声を出さない綱引き、東の風51号など定番種目も盛り上がりました。

そして、クライマックスは、赤青分かれて全員で演じるパフォーマンスです。今回は接触がなく、距離をとって

の演技になりましたが、両組とも体育で取り組んだ団体行動を取り入れ、全員でピタッと動きを合わす統一感を重視してのパフォーマンス。どちらも色々な工夫を取り入れ、表情豊かに演じきりました。途中、赤組の道場君が「コロナに負けず！～」青組の田中さんが「笑顔いっぱい最後までやりきる！」と叫び、大きな喝采を浴びました。双方甲乙つけがたい素晴らしいパフォーマンスでした。



結果、競技の部は青組、パフォーマンスの部は赤組の勝利で終わりましたが、結果発表では、お互いが相手の勝利をたたえ合う和やかな雰囲気、勝ち負けよりもやりきったという清々しさでいっぱいでした。

自粛事項もあり、はじめは表情も硬かったのですが、プログラムが進むにつれ、だんだんと盛り上がりを見せ、入場前のおなじみピンクレディーのUFOのイントロに合わせ全員がポーズをと



ったり（右上写真）、リレーの応援に踊りが入ったり。午後、後片付けと解団式が終わると、どこからか「エッサ、エッサ」のかけ声で全員が踊り出し、大笑いのうちに体育祭は幕を閉じました。

自分たちの手で創る！ リーダー大活躍

私（岩崎）にとって、東海南で初めての体育祭。当日の生徒の頑張りはもち



ろんですが、一番評価したいのは、それまでの取組の過程の素晴らしさです。特に、パフォーマンスのブロック練習は赤・青ともに、3年生が試行錯誤を重ねてゼロから創り上げ、それに1・2年生が一生懸命についていき、一日一日課題を克服しながら仕上がっていく姿には感動させられました。はじめは、各ブロック担当の教



師も練習に入り手伝いもしていましたが、だんだんと教師の手を離れ、最終的にはすべて自分たちで創りあげました。特に、パフォーマンスリーダーの田伏七菜さん（赤組）と中迫萌生さん（青組）のマイクを持ってリードする姿は教師顔負けでした。また、ブロック長の道場湧生君（赤組）、田



中新菜さん（青組）が大きな声でみんなを鼓舞し盛り上げる姿も印象に残りました。また、会場準備やグラウンド整備、後片付け、解団式等も両ブロック長が指揮し、みんなもそれに応えて、てきぱきと動きました。あらゆる場面に「自分たちの手で最高の体育祭に！」という自覚と使命感が溢れていました。2年生にはきっと「来年は僕らの



番だ！」という意識が生まれていると思います。このようにして、伝統は引き継がれ、それぞれの舞台上で活躍するリーダーが育っていきます。まさにアクティブステージですね。さあ、次の舞台へ。

保護者の皆様、ご協力ありがとうございました

から、体育祭当日は、生徒への応援と温かい拍手、後片付けまで御協力いただきありがとうございました。心から感謝申し上げます。

保護者の皆様には、酷暑の中

